

# 新中核病院建設に向けて



完成予想図

病床数と常勤医師を配置する診療科目について検討を続けてきましたが、次の様に決定しましたので報告します。

## 病床数

●新中核病院 250床

(一般病床250床)

●さくらがわ地域医療センター 128床

(一般病床80床・療養病床48床)

## 診療科目

(常勤医師を配置する診療科目)

●新中核病院 (9科)

内科、小児科、外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科・形成外科、救急科

●さくらがわ地域医療センター (5科)

内科、外科、小児科、整形外科、眼科

※診療科目は、現時点のものであり、開院時の非常勤医師を含めた全体の診療科目につきましては引き続き検討して参ります。

## 新中核病院建設工事について

新病院の建設工事にあたり、建設費の抑制、施工期間の短縮を図るため、実施設計段階から施工予定者が設計に関与し、技術協議をしながら設計を進めて行く入札契約方式（ECI方式）で行います。

1次審査を通過した事業者が、2次審査で技術提案（プレゼンテーション及びヒアリング）を行います。2次審査は、市民のみなさまに公開で行います。

## 実施設計協力事業者（施工予定者）選考公募型プロポーザル

●1次審査（書類審査による選考）

●2次審査（公開で行います）

《日時》 5月29日（日）午後1時～

《場所》 しもだて地域交流センター

「アルテリオ」1階集会室

2次審査終了後、審査会を開催し、同日審査結果を公表いたします。

## ●2次審査の傍聴について

《対象》 筑西市及び桜川市在住・在勤の人（技術提案者及び関係者を除く）

《傍聴席》 100人程度（事前申込不要）

《受付開始》 午後0時30分～

問 中核病院建設推進課 ☎21-8720

## 新中核病院の看護師確保

に向け、潜在看護師さんの

再就業を応援

します！

結婚・出産・子育てなどの理由で、

一時的に看護の職場を離れている

看護師（潜在看護師）の再就業を

支援するため、再就業への不安を

軽減し、病院への再就業が円滑な

ものとなるよう、研修を実施しま

す。研修には、講義研修、実務研

修及び試用研修があり、講義研修

及び実務研修は茨城県ナースセン

ターの研修を受講します（受講料

無料）。試用研修では県西総合病院

又は筑西市民病院で働きながら研

修し、賃金も支給します。

《対象》 県西総合病院又は筑西市民

病院への就業を希望し、引き続き

新中核病院に勤務する意思のある

潜在看護師

《研修場所》 県西総合病院又は筑西

市民病院ほか

《申込期限》 7月15日（金）まで

問 筑西市民病院ナース育成センター

☎28-2261

# 「道の駅」整備に関する 基本構想・基本計画を策定しました

筑西市「道の駅」整備推進協議会による道の駅整備に関する8回の会議、利用者ニーズ調査、パブリック・コメントを経て、筑西市が目指す道の駅の方向性や整備候補地などについて取りまとめた「筑西市『道の駅』基本構想・基本計画」を策定しました。

今後は、この基本構想・基本計画を基に、施設整備の設計、管理運営の検討を行うって参ります。

## 整備コンセプト・基本方針

fun! fan! fan!  
～みんなが楽しい道の駅～

「市民」も「来訪者」も、「男性」も「女性」も、「子ども」も「大人」も、「消費者」も「生産者」も「運営者」も、みんなが楽しめる

fun = 楽しさ、面白さが、  
fan = 周辺地域へと広がり、  
fan = ファン、応援者 が生まれる「場」を目指します。

- 基本方針 1：市民が育てる道の駅
- 基本方針 2：市民活動のステージとなる道の駅
- 基本方針 3：「筑西の農力」が発揮される道の駅
- 基本方針 4：地域内外から人を呼び込む道の駅
- 基本方針 5：防災について学び、備える道の駅

## ■管理・運営

### 道の駅の管理運営方針

- マネジメント力とノウハウを有する運営主体
- 地域住民の活用促進
- 地域住民の運営参画
- 収益の確保
- 商品供給体制の構築
- ファン・リピーターの確保

これらを踏まえ、今後、第三セクターによる管理運営手法を基本に引き続き検討します。

## ■導入機能・規模

(施設全体規模 約 45,000 平方メートル)

- 休憩機能 約 21,000 平方メートル (駐車場・トイレ)
  - すべての利用者にとってわかりやすい駐車場
  - 女性や子ども連れに配慮した清潔なトイレ
- 情報発信機能 約 200 平方メートル
  - 周辺道路情報その他、市内観光情報などの発信
  - 案内人による旬で地元根付いた情報の発信
- 地域連携機能 約 21,000 平方メートル (農産物直売・飲食・加工・体験施設など)
  - 筑西の農を生かすための、農産物直売所、飲食施設、加工施設
  - 滞在性を考慮した体験・憩い・あそびの施設

## ■整備候補地

### 国道 50 号バイパス沿線川澄地区を選定

国道 294 号沿線には近隣に「道の駅にのみや」「道の駅しもつま」があること、また、茨城県内の国道 50 号沿線には道の駅の設置がないことから、国道 50 号下館バイパス沿線を選定しました。その中で、整備コンセプトを実現するため、集客性の他、老若男女、誰もが行きやすい場所であることや、滞在性・景観などについても考慮し、川澄地区を選定しました。



☑ 企画課道の駅推進室 (本庁3階) 内線 4 8 8

## ■整備イメージ



※現時点での参考イメージです。基本設計などを通じて、今後も検討を進めていきます。

# 人口ビジョン

2040年 87,000人  
2060年 75,000人

## 総合戦略

市民の生活が幸福と感じられる  
地域社会の創生

「まち・ひと・しごと創生

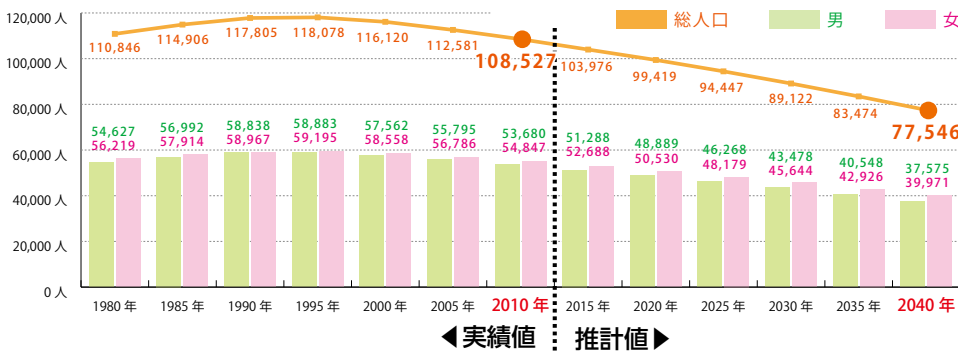
人口ビジョン及び総合戦略」を策定

少子高齢化と併せて人口減少問題への対応は急務となっています。特に本市においては、若年世代の首都圏への流出や子育て世代の近隣都市への転出が顕著となっています。

この度、人口の現状と将来の展望を示した「筑西市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と、その実現のために平成27～31年度（5か年）の政策目標や具体的な施策をまとめた「筑西市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

# 人口ビジョン

## ①筑西市の人口推移と将来推計



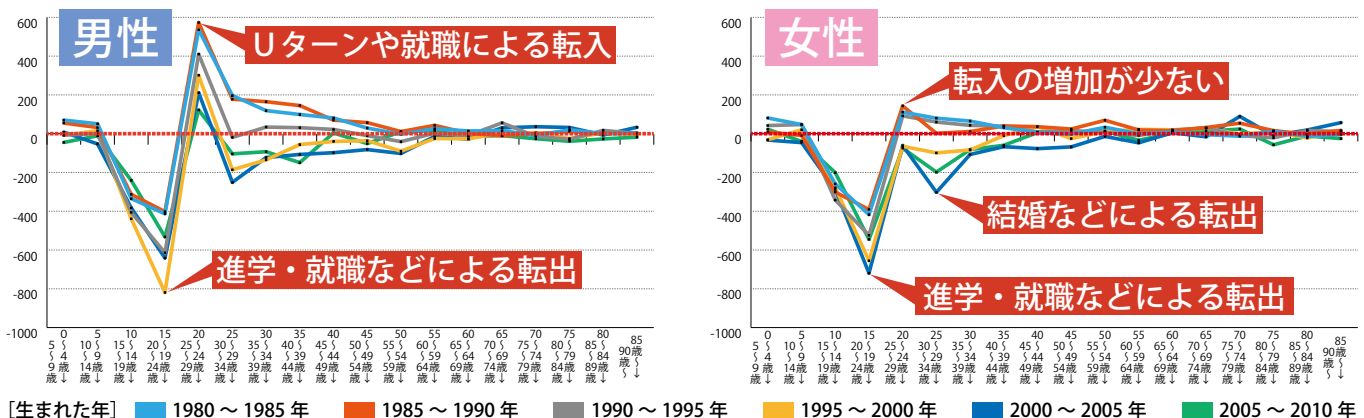
2010年と2040年の  
総人口を比較すると

**30,981人減少**  
(-28.5パーセント)

※国立社会保障人口問題研究所予測

## ②年齢階級別人口移動の推移

年齢階級別の人口移動を見ると、10代後半からは進学などによる市外への転出により大きく減少し、20代半ばからはUターンや就職に伴い増加する傾向が見られます。しかし、男女別で見た場合、男性は20代半ばから後半にかけて転入が超過するのに対し、女性は転入の増加が少なく、転出に歯止めがかからない状況です。



## ③人口の将来展望

本市の将来人口は、2060年には54,963人にまで落ち込むと推計されます。これに対して、転出の抑制、転入の増加を図り、本市の活力あるまちづくりを実現するため、将来人口目標「75,000人」を目指します。

国立社会保障人口問題研究所  
推計 2040年 77,546人  
人口 2060年 54,963人

筑西市が目指す  
将来人口

2040年 87,000人  
2060年 75,000人

## ④目指すべき将来の方向性

### 社会減の抑制、社会増を図る方向性

市民の不安・不満を解消し、  
転出の抑制と転入の増加を図っていく

- U I J ターンの促進※1
- 雇用機会の創出
- 女性が働ける就業場所の確保
- 起業支援・創業支援
- 就業意向と雇用機会のマッチング支援
- 企業誘致
- 地域産業の育成強化
- 基幹産業の強固な基盤づくり
- 地域の活力を維持する地域経済の循環
- 中心市街地の活性化
- まちなかの魅力づくり
- 公共交通の利便性の向上
- 地域コミュニティの充実
- 交流事業の推進
- シティプロモーションの推進※2
- 医療環境の充実
- 保育環境の充実
- 教育環境の充実
- 余暇環境の充実
- 健康・福祉環境の充実
- 結婚・出産・子育て環境の充実

### 希望をかなえ環境改善を図る方向性

結婚・出産・子育てのライフステージに  
合わせた切れ目ない支援を図っていく

- 婚活支援
- ワーク・ライフ・バランスの推進※3
- 安定した雇用基盤の確保
- 結婚・出産・子育て環境の充実
- 子育てに対する経済的負担の支援
- 女性が働きやすい職場環境の整備
- 保育環境の充実
- 医療環境の充実
- 健康・福祉環境の充実
- 高齢者の生きがいづくり

- ※1 U I J ターン  
下記3種類の地方への人口移動  
・Uターン（地方 ⇒ 都市部 ⇒ 地方）  
・Iターン（地方 or 都市部 ⇒ 地方）  
・Jターン（地方 ⇒ 都市部 ⇒ 地方都市）
- ※2 シティプロモーション  
地域の魅力を発見、発掘、創造し、地域内外に発信すること
- ※3 ワーク・ライフ・バランス  
「仕事と生活の調和」と訳され、個人のライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方の実現を目指す考え方

## 総合戦略

### 基本目標①

若い世代の結婚・出産・子育ての希望  
をかなえる  
～結婚・出産・子育てのライフステージ  
に合わせた切れ目ない支援～

- 子育てに関する経済的な負担の支援
- 子育てと仕事が両立できる社会環境の整備を支援
- 保育などの子育て環境の充実
- 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実

### 基本目標②

筑西市における安定した雇用を創出する  
～安定した雇用の確保と新たな産業の創出～

- 安定した雇用基盤の創出
- 本市の強みや特性を活かした産業の育成
- 新たな産業の育成を図るための起業家の支援

### 基本目標③

筑西市への新しい人の流れをつくる  
～若者の定住促進、まちなかの魅力づくり推進～

- 若者のU I J ターンの促進
- まちなかの魅力づくりと新たな観光の拠点づくり
- 都市・農村交流事業の推進
- シティプロモーションの推進

### 基本目標④

時代に合った地域をつくり、安心な暮らし  
を守るとともに、地域と地域を連携する  
～安心して暮らせるまちづくりの推進～

- 医療、福祉環境の充実
- 公共交通ネットワークの充実
- 地域コミュニティの醸成